



NEWS LETTER

No.25
2019

男女共同参画セミナーを開催

7月5日(金)

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業(連携型) 令和元年度 男女共同参画セミナー ～ダイバーシティが拓く山形の未来～

組織の競争力を高め、新しい価値を創造するダイバーシティ経営について、令和元年7月5日(金)に小白川キャンパスにて、男女共同参画セミナーを開催しました。講師には、ダイバーシティ 2.0を推進する経済産業政策局 経済社会政策室の木村拓也氏と、ダイバーシティ推進に関する制度整備、啓発活動を担当してこられた帝人株式会社人財部の日高乃里子氏をお迎えしました。当日は、大学等の教育機関、行政、および企業の関係者など58名の参加がありました。講演終了後には活発な意見交換が行われ、これからの地域や組織の活性化を考える上で有意義な機会となりました。

また、女性研究者の活躍促進を図るために山形大学、大日本印刷株式会社研究開発センター及び山形県立米沢栄養大学の3機関が、平成27年度から取り組んでいる文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」の事業報告もありました。(米沢・飯田・鶴岡キャンパスおよび、大日本印刷(株)研究開発センターにてTV 配信)

- 1) 開会の挨拶 ダイバーシティ連携推進会議議長 阿部宏慈
- 2) 学長挨拶 学長 小山清人
- 3) 報告 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業」 山形大学男女共同参画推進室 准教授 井上榮子
- 4) 講演 「ダイバーシティ 2.0 一歩先の競争戦略へ」 経済産業政策局 経済社会政策室 室長補佐 木村拓也氏
- 5) 基調講演 「ダイバーシティが組織・企業・大学を強くする」 帝人株式会社人財部 日高乃里子氏
- 6) 質疑・意見交換
- 7) 閉会の挨拶 米沢栄養大学学長 鈴木道子

基調講演「ダイバーシティが組織・企業・大学を強くする」

帝人株式会社人財部の日高乃里子氏による基調講演では、ダイバーシティ(社員の多様性)自体が目的ではなく、多様な人材の適材適所により「経営上の成果」につなげることが目的であり、違いを生かし競争優位につなげる戦略をとること、多様な人材が結果を出すことについて、お話がありました。

また、「サクセッションプランの女性枠新設」「女性幹部候補育成プログラム」「家庭事情による退職者再雇用制度」「配偶者海外転勤同行休職制度」など、多数の優れた制度を実施し、近年女性管理職が大幅に増加したことや、外国籍社員の活躍推進ならびにLGBTに対する取組等についても、幅広く紹介いただきました。

参加者からは、「経営視点のダイバーシティのお話はとても興味深く、勉強になりました」「長期的かつリーダーシップを持った取り組みが重要であると学んだ」「ダイバーシティは企業の利益と少なからず関係していると知って意外でした」など、多数の感想が寄せられました。



日高乃里子氏

講演「ダイバーシティ 2.0 一歩先の競争戦略へ」

経済産業政策局の木村拓也氏のご講演では、ダイバーシティは、グローバルな人材獲得力の強化、リスク管理能力の向上、取締役会の監督機能の向上、イノベーション創出の促進の面で、企業価値の向上に効果があると考えられることについて、報告がありました。また、ダイバーシティ 2.0とは、「多様な属性の違いを活かし、個々の人材の能力を最大限引き出すことにより、付加価値を生み出し続ける企業を目指し、全社的かつ継続的に進めていく経営上の取組」であり、その行動ガイドライン実践のためのアクションについてご紹介いただきました。

参加者からは「国の政策の方向性、日本の位置付けを知ることができました」「この危機感をもっとたくさんの方がシェアできると良いと思います」「諸外国と比較すると日本のダイバーシティにおける女性活躍の場が低いことを改めて認識しました」などの感想が寄せられました。



会場の様子

6月6日(木)
小白川キャンパス

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業の紹介

英語論文の書き方・英語プレゼンテーションセミナーを開催しました。

(米沢・飯田・鶴岡キャンパスおよび、大日本印刷(株) 研究開発センターにてTV 配信)

女性研究者の研究力向上を目的として、英語論文の指導経験の豊富な講師を外部から招き、連携機関に所属する研究者、学生等(男性も含む)を対象としてセミナーを開催しています。

今年度は、野口ジュディー津多江氏(神戸学院大学グローバル・コミュニケーション学部名誉教授)を講師に迎え、英語論文の書き方・英語プレゼンテーションセミナーを開催しました。英語論文作成にあたっては、その分野にとって的確な表現を分析して使い、目的を明確にすることが重要であること、最近の応用言語学や言語教育のコンセプトやツールが専門言語を扱わなければならない方たちに役に立つものが多いことなどを、講義していただきました。

参加者からは、「ただ論文を書くだけでなく、誰にどのような内容を伝えるかを明確にした上でアプローチすることが必要だと学びました」「普段からジュディー先生の御著書にお世話になっておりますが、今日は直接お話が伺えて有意義でした。少し自信が持てました」「現在、Abstractを作成しているので、非常に勉強になった。単語の選び方や話の流れなど、もっと早くにセミナーを聞きたかった」など、多数の感想が寄せられました。小白川キャンパスとTV配信会場をあわせて85名(関係者を含む)の方にご参加いただきました。



野口ジュディー津多江氏

山形大学男女共同参画基本計画(第2次)の策定

山形大学は、男女共同参画の推進が今後の大学の発展にとって不可欠であるという認識に立ち、多様性の受容と尊重(多様な人材の潜在能力を活用する経営)、ライフステージに応じた制度の整備(ワークライフバランス)を目指し、性別にかかわらず個性と能力を発揮できる大学作りを推進することが重要であると考え、平成21年1月に「山形大学男女共同参画推進宣言」を発表しました。その後、平成22年に策定された山形大学男女共同参画基本計画(実施期間は平成31年度まで)により、学長のリーダーシップの下、男女共同参画推進委員会を中心に男女共同参画を推進してきました。この間、文部科学省「女性研究者支援モデル育成事業」(平成21～23年度)や「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業」(平成27～32年度)の採択を経て、充実を図ってきたところです。

平成30年度は、男女共同参画推進委員会内にワーキンググループを設置し、男女共同参画の現状を把握し、これまでの成果と課題を明らかにするために、「男女共同参画に係るアンケート調査」を実施しました。今年度は、「男女共同参画に係るアンケート調査」結果などを踏まえて、第2次男女共同参画基本計画を策定します。5月にワーキンググループが男女共同参画委員会内に設置され、検討を開始しました。男女共同参画推進委員会を3回開催して計画を年度内に策定し、令和2年4月から実施する予定です。

東北地区、さらには全国の中にあって模範となる「男女共同参画」が実現された大学になるように、皆様のご意見をお寄せください。

国立大学法人山形大学 男女共同参画基本計画



平成22年6月

「山形大学教職員のための出産・子育て・介護に関する制度」改訂版

(2019年4月1日現在)

改定版のパンフレットを作成し、配布させていただきました。制度の改善点などをご確認いただき、ご活用ください。企業主導型保育所「つぼみ」が昨年9月に開所し、自園調理による給食・おやつを提供や体調不良児保育など、小白川キャンパス保育所もさらに充実していますのでご利用ください。改訂版パンフレットや保育所については、男女共同参画推進室のHPに掲載しております。

なお、「女性活躍推進法に基づく行動計画」と「次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画」も、平成31年4月1日付で改定し、山形大学HPで公表しております。

改定版のパンフレットの一部を次にご紹介します。



山形大学小白川キャンパス保育所

<http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/modules/hoiku/>
問合せ・申込み:男女共同参画推進室 TEL 023-628-4938



企業主導型保育所, 対象0歳~1歳, 定員10人



対象0歳~小学校就学前, 定員30人

ダイバーシティ研究環境を実現するための制度

- 研究継続支援員制度, 学会参加時の保育支援制度
- 女性研究者の支援制度: 2015年度~2020年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」
女性代表共同研究支援制度, ライフイベントによる研究中断からの復帰支援制度, 夜間保育, 休日保育, 病児・病後児保育, 学童保育利用料補助制度など

女性活躍推進法に基づく行動計画

計画期間
2019年4月1日~2022年3月31日

- 目標1 女性教員割合を, 現在の15%から17%に引き上げる。
- 目標2 管理職に占める女性割合を, 現在の12%から20%に引き上げる。

次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画

計画期間
2019年4月1日~2022年3月31日

- 目標1 計画期間内に, 育児休業の取得状況を次の水準以上にする。
男性職員: 1人以上の職員が取得 / 女性職員: 取得率を85%以上にする。
- 目標2 時間外労働時間・休日労働時間を削減する。
- 目標3 夏季・年末年始の計画休暇(一斉休業)を実施するなど, 年次有給休暇の取得促進に取組み, 計画期間内に, 常勤職員について, 取得日数平均10日以上を目指す。
- 目標4 テレワークを導入する。

本パンフレットに掲載のない制度もあります。また, 性別や勤務形態によって利用できる制度が異なります。ご不明な点は下記までご相談ください。

- 休暇、福利厚生等に関すること 総務部労務課労務担当
TEL 023-628-4077 Email sjifuku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
- 共済組合に関すること 総務部労務課共済担当
TEL 023-628-4027 Email sjikyosai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
- 給与に関すること 総務部人事課給与担当
TEL 023-628-4025 Email sjikyuyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
- 休業等に関すること 総務部人事課人事担当
TEL 023-628-4023 Email sjinin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



山形大学男女共同参画推進室

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL 023-628-4937, 4938, 4939 FAX 023-628-4014

発行 2019年3月



この印刷物は、印刷廃の紙へリサイクルできます。

山本 美奈子 先生

学術研究院(学士課程基盤教育機構)
准教授



本学に着任して、2年目になります。授業は主に1年生を対象に、キャリア教育関連(自己理解:キャリアデザイン、社会理解:キャリアデザイン)やインターンシップを担当しています。このなかでも自己理解:キャリアデザインの授業は、私が専門とするキャリア心理学が活かせる分野で、全学部の約7割が履修しています。学生が自分の興味や関心、能力、価値観などについて、みずからの経験を振り返るなかから自分らしさの理解を深める内容になっています。

本学に着任し間もない頃、女性の活躍推進に関わるテレビニュースの取材を受けました。取材でお話したことは、日本では、結婚、出産、育児によって5割の女性が離職し、就業率が低下するM字カーブが顕著です。このようななかで、山形県では、過去20年間、女性の就業率は全国で上位を推移しています。これは、出産や育児に重点をおきつつパートやアルバイトへと働き方を変えて、働き続けられる女性が多いということを表しています。ところが、子どもが成長した

「自分らしいオリジナルなキャリアを活かして」

40代以降も正規社員として働く女性の割合が少ないことが統計上明らかになっています(総務省:就業構造基本調査,山形県:2014)。このことは、働き方を変える雇用機会やキャリアについて再考する機会が少ないなどが考えられます。

私自身のキャリアを振り返った時に、Sunny, S,Hansen(1997:2013翻訳)の統合的人生設計(Integrative Life Planning)というライフキャリア理論が蘇ってきました。彼女は、個人のキャリアは仕事だけではなく人生における役割全体から考えることが必要だとして、4つの要素(労働:Labor、学習:Learning、余暇:Leisure、愛:Love)を統合的に捉えることの重要性を唱えています。これは、この4つの要素をキルトのパッチワークのように組み合わせ、自分の人生を豊かに織り上げていくという考え方です。彼女が述べるように、一人ひとりがオリジナルな人生の役割の組み合わせを持っており、意味のある人生のためにキャリアを選択していくことが重要なのではないのでしょうか。

私自身は、20代前半に看護師として集中治療室に勤務し「死」ということに直面し、自分らしく生きたいと考えました。その後の市役所勤務では、職員の健康管理に携わり「どのよ

うに働くのか」の支援をするなかで、私自身はどのように働いていくのか、どのように生きていくのかを考えました。その問いに対する答えを求めて、子育てと仕事を両立しながら、大学院で学ぶ経験を積んできました。現在では、私自身が歩んできたオリジナルな4つの要素をキャリア教育やキャリア心理学の研究と関連づけ、活かしていきたいと考えています。

未婚、既婚、子どもの有無や年齢に関わらず、学びなおしの機会(生涯にわたって教育と就労を交互に行うリカレント教育)を得たいと思う方は、潜在的に多いのではないのでしょうか。キャリアとして経験してきたこと、すべてが自己資源として活かされる場があるのではないかと考えます。今後は、山形の女性のキャリア支援にも関わり、地域や地元企業とつなぐ役割を担っていきたい所存です。



授業風景

募集中! 女性大学院生ネットワーク 山大JOIN

昨年度より、山形大学女性大学院生ネットワーク(略称「山大JOIN」)が発足しました。JOINメンバーは、ネットワーク活動を通じて互いに情報共有を図るとともに、大学院進学を目指す女子学生の育成を目的とした裾野拡大事業を推進すべく、小中高生を対象とした次世代育成活動を行います。登録希望者を随時募集していますので、男女共同参画推進室まで、メールなどでお申し込みください。

〈登録方法〉

必要事項を記載のうえ、EmailまたはQRコードより申込みください。

〈必要事項〉氏名、所属、学年、Eメールアドレス

山形大学男女共同参画推進室 チーフコーディネーター井上

TEL 023-628-4937 Email : y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



山形大学女性大学院生ネットワーク

山 大 JOIN

ジ ヨ イ ン

登録募集のお知らせ

女性大学院生のみなさま 募集人数: 30名程度

仲間・・・そして夢へと「つなぐ」

山形大学女性大学院生ネットワーク(通称:山大JOIN)のメンバーとして、一緒に活動しませんか?

対象: 本学に在籍する女性大学院生(文系・理系問わず)

趣旨・目的

次世代のリーダーを担う女性人材の育成を目的として、女性大学院生ネットワークを構築し、参加者の相互交流を図るとともにキャリア形成を支援する。大学院進学を目指す女子学生の育成を目的とした裾野拡大事業を推進し、小中高生を対象とした次世代育成活動を行う。

活動内容(予定)

- ・男女共同参画関連事業(意識醸成セミナー、シンポジウム、パネル展示等)への参加
- ・女性活躍促進企業への交換留学、企業訪問、キャリア就職セミナー、進学セミナー等のキャリアアップを目的とする研修への参加
- ・裾野拡大事業(小中高校生向け事業)、出前授業(進路学習・探究学習含む)への参加、企画および実施
- ・女性大学院生交流会への参加
- ・情報共有活動(活動報告や記事の執筆、メルマガの配信など)

※小中高生を対象とした活動および各種行事の運営活動は勤務扱いになり、「山形大学アドミニストレイティブ・アシスタントに関する規程」が適用されます。交流会や研修への参加等、自らのスキルアップやキャリア形成を主な目的とする活動は、非勤務扱いとなります。詳細は相談ください。

編集後記 / 3年前から、男女共同参画フェスタにおいて、「LGBTに関するポスター」(7枚組)を展示しています。今年度は改訂版のポスターを作成し、最新情報を追記し、山形市役所の「LGBT対応ハンドブック」なども紹介しました。ポスターの貸出やデータ提供については、本室にお問い合わせください。本学の男女共同参画基本計画(第2次)策定の年にあたり、LGBT対応に関する検討も深まればと思います。(2019年8月)



山形大学男女共同参画推進室

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12
TEL 023-628-4937/4938/4939
E-mail y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/